

## 地理歴史科・公民科（公共）学習指導案

### 1 単元名 「財政の役割と持続可能な社会保障制度」

この単元は、「2 内容」の「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の(ウ)に該当する。

### 2 単元目標

- (1) 財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及び、より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。
- (2) 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
- (3) 財政の役割と持続可能な社会保障制度について、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを多面的・多角的に考察し、表現する。
- (4) 財政の役割と持続可能な社会保障制度について、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

### 3 単元計画(全体4時間) ※1時間を65分で実践した

#### (1) 指導計画

- ・財政の働きと課題 2時間
- ・社会保障の役割 1時間
- ・社会保障の課題とこれから 1時間(本時)

#### (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</li> <li>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政の役割と持続可能な社会保障制度について、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の側面と関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>

#### (3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

時	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1時	【学習課題】<単元を貫く問い>「財政や租税、社会保障における政府の役割とはどのようなものか」						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政の働き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ねらい】公共目的のために行う政府の活動についてその手段と役割を理解する。</li> <li>・令和2年度の一般会計歳出歳入の資料を読み取る。</li> <li>・税の目的や直接税と間接税の特性を理解する。</li> </ul>	●	技		(B) 一般会計歳出歳入の資料について、補正予算や予算案の増大などの記述をしている。 【技能】 (C) 具体的事例を基に考えさせる。	ワークシート ①(1)

時	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第2時	【学習課題】〈問い〉「国債の発行ができなくなるとどのようなことがあるだろうか」					(B) 国債の意義について税の役割と関連付けて考察することができる。【技能】 (C) 現実社会の問題点から考察できるよう具体例を示すなどの支援を行う。	ワークシート ①(4)
	・財政の課題	【ねらい】 国債発行残高の増加を基に、 税収と国債の課題を理解し、解決策を 考察する。 国際増大の減員を考察し、国債の意義 と課題解決について考察する。	○ 技				
		学習成果を統合・活用するテストを実施し、知識を評価する。					
第3時	【学習課題】〈問い〉 「なぜ社会保障が必要なのだろうか。」					(B) ・社会保障の必要性を考察し、根拠を示して自分の意見を記述している。 【思考・判断・表現】 ・社会保障政策の国際比較について、提示した資料から、適切に比較し、特徴などを記述している。【技能】 (C) 違う資料を提示して多面的に考察できるよう支援する。	ワークシート ②(2)  ワークシート ②(5)(6)
	・社会保障の捉え方	【ねらい】 現実社会のリスクを想定して、 社会保障の必要性を考察する。 社会保障の負担者と割合について国際比較を 基に日本の社会保障の特徴を考察する。	● 技	●			
第4時	【学習課題】〈単元を貫く問い〉 「財政や租税、社会保障における政府の役割とはどのようなものか」					(B) ・具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて協働して考察したり、構想したりしたことを表現している。 【思考・判断・表現】 (C) 少子高齢化の問題点を整理し、社会保障と関連付けて考えさせる。 ・疑問を解決しようとしたり、学びを深めようとしたりする姿勢が見られる。 【主体的に取り組む態度】	ワークシート ③問 ワークシート ③振り返り
	・社会保障の課題とこれから	【ねらい】 少子高齢化が社会保障政策に与える課題と対策をまとめるとともに、 グループで協働して社会保障政策を構想し、 発表する。 2040年問題を通して、少子高齢化が 社会保障へもたらす影響を考察する。 持続可能な社会保障政策をグループで 協働して構想し、全体に発表する。		○	●		

#### 4 本時の指導と評価の計画

##### (1) 本時の目標

- ア 合計特殊出生率や高齢化率などの資料を基に、日本が抱える社会保障の課題と政府の役割を理解する。
- イ 社会保障の課題について合意形成や社会参画を基に、2040年の社会保障政策について構想する。

## (2) 本時の展開

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の内容の復習</li> <li>・本時の授業内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業内容について理解する。</li> </ul>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化と社会保障について(資料の読み取り)</li> <li>・2040年の社会保障について</li> <li>・考察した課題・構想の発表</li> <li>・望ましい保障政策についてのまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化に関する資料(スライド)から、少子高齢化がもたらす社会保障の課題を考察し、記入する。</li> <li>・2040年の社会を想定して持続可能な社会保障を構想する。</li> <li>・グループ内で発表して代表者を決定し、代表者はクラス内で発表する。</li> <li>・他者の意見を踏まえて自分の意見をまとめ、記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ作成に時間がかからないよう留意する。</li> <li>・発表者を指名し、聞き取りやすく、はっきりと話すよう指示する。</li> </ul> ○ワークシート問 <b>【思考・判断・表現】</b>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の予告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを完成させ、提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークシート振り返り</li> </ul> <b>【主体的に取り組む態度】</b>

## (3) 本時の評価規準

「おおむね満足できる」状況 (B) と判断される例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が社会保障に与える影響について理解でき、具体的な主題に対して多面的・多角的な視野で考察している。</li> </ul>
「十分満足できる」状況 (A) と判断される例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が社会保障に与える影響について理解できており、持続可能な視点をもってこれからの社会保障政策について表現している。</li> </ul>
「努力を要する」状況 (C) と判断される生徒の例と教師の指導
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が社会保障に与える影響について理解できていない。</li> </ul> →少子高齢化の問題点を整理し、少子高齢化がもたらす社会保障政策への影響を考えさせる。

## 5 評価問題 (評価材料) 及び評価規準

## (1) ワークシート①-④【技能】

公債 (国債) が発行できなくなると身の回りでどのような問題が生じるか具体例を挙げて書きなさい。
評価規準
「おおむね満足できる」状況 (B) と判断される例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国債の意義について税の役割や税収と関連付けて、記述している。</li> </ul>
「十分満足できる」状況 (A) と判断される例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例を挙げて、国債の意義について税の役割や税収と関連付けて、記述している。</li> </ul>
「努力を要する」状況 (C) と判断される生徒の例と教師の指導
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国債の意義について理解できていない。</li> </ul> →個別に指導を行う。

(2) ワークシート⑩-③【思考・判断・表現】

2040年問題に備えて、日本は今後、どのような社会保障政策を行っていくことが望ましいと考えるか。自分の考えを根拠（理由）も含めて書きなさい。

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・福祉（サービス）と負担の関係性が少子高齢化と関連付けて考察し、記述している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・福祉（サービス）と負担の関係性が少子高齢化と関連付けて考察できており、財政や労働などに多面的・多角的な視野をもって考察で記述している。
「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導
・福祉（サービス）と負担の関係性が少子高齢化と関連付けて考察できていない。 →グループの発表の意見を参考に関連付ける視点を与える。

6 成果と課題

(1) 成果

2040年問題という具体的な主題に対し、現在や2040年現在における自身の年齢を意識させることで、生徒たちは社会保障を受ける側、支える側の両側の視点に立ち、多面的・多角的な視点で発表することができた。各班の発表で自助や共助、公助といったさまざまな考え方に触れて、当初の自身の考えから変化が見られる生徒も多く、また、政策提言という課題に向き合うことで、政策の担い手である政府の視点を取り入れた発表も見られた。ほとんどの生徒が少子高齢化と社会保障を関連付けて考察し、記述することができており、一つの考え方に縛られずに記述したことが評価されるという点ではよかったように感じる。

また、各種保険や社会保障などの各分野の詳細な内容については軽く触れるに程度になったが、生徒は自分で資料集などを使って調べて、自身の構想の材料を集めていた。議論の深まりから、講義型の授業で網羅的に知識を説明するよりも、生徒の主體的な活動により得られた知識を活用するほうが、知識の定着や思考についても深まるように感じた。

(2) 課題

今回の実践では、「公共」の教科書を参考に、財政分野と社会保障分野をセットに単元を設定した。財政分野については7月中旬に実践できたが、夏休みや学校行事の兼ね合い、他の教員との進度の兼ね合いもあり、社会保障分野を実践できたのは11月初旬であった。そのため、同じ単元である財政分野と関連付けて実践するには期間が空きすぎていたため、財政分野との関連付けについては教員からのヒントを得ながらの考察になってしまい、生徒自身での関連付けを評価するという点では課題が残ってしまった。また、資料については、政府機関のデータについて、スライドで示すのみだったので、校内の整備などさまざまな課題をクリアして、ロイロノートの活用など資料の配付方法を検討したり、学校のタブレットPCや自身の端末でデータに触れたりする活動を取り入れていけるとよりよい実践になったのではないかと思う。

今後もこれらの課題点を修正していきながら新しい評価を意識した授業案の作成と実践をしていきたいと思う。

7 参考文献

- ・『三四郎』（夏目漱石、新潮文庫、1948年）
- ・『ギリギリの年金 統計が示す私たちの現実』（明石順平、朝日新書、2020年）
- ・教科書『公共』（東京書籍）
- ・教科書『現代社会』（東京書籍）
- ・副教材『最新図説 公共』（浜島書店）
- ・副教材『フォーラム現代社会2021』（とうほう）